

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	中国地方整備局（22事務所＋5管理所）
-----------	---------------------

事業等の名称	インフラツーリズム（現場見学会＋民間主催インフラツアー）
主な対象者	一般
主な取組区分	現場見学
1. 実施時期 1年を通して実施	
2. 実施場所 中国地方整備局管内の工事現場や既に完成した施設（道路・河川・ダム・港等）	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） ・特定の対象者に絞っていない。 ・H30年度は、現場見学会が約10,500人、民間主催インフラツアーが約2,500人、併せて約13,000人が参加。	
4. 共催・単独等の開催状況 各事務所単独開催がメインであるが、民間会社等が企画するインフラツアーと連携することもある。	
5. 事業等の内容 ・現場見学会 ・民間主催インフラツアー	
6. 期待される効果（実施結果：効果） ・中国地方整備局における事業への理解及び認知度向上及び建設業界の魅力向上。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 インフラを単に公開・開放するだけでなく、観光振興や地域活性化に資する「地域の資源」として、民間会社・地域商社・観光協会等に最大限活用してもらう方法を検討している。	
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	中国地方整備局 企画部
-----------	-------------

事業等の名称	建設技術フォーラム2019 in 広島における「学生交流広場」
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	意見交換会、セミナー
1. 実施時期	令和元年11月26日～27日（2日間）
2. 実施場所	広島産業会館（広島市南区）
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	<ul style="list-style-type: none">・呉工業高等専門学校 環境都市工学科3年生，プロジェクト工学専攻2年生：50名・西条農業高等学校 緑地土木科2年生：40名・広島工業高等学校 土木科1年生：39名・岡山工業高等学校 土木科3年生：80名・広島工業大学 工学部環境土木工学科1年生：96名
4. 共催・単独等の開催状況	東亜建設工業(株)，中電技術コンサルタント(株)，(株)日本ピーエス，奥村組土木工業(株) (株)横河 NS エンジニアリング，大林道路(株)，(株)熊谷組，広成建設(株)，世紀東急工業(株) 日本道路(株)，大豊建設(株)，日本国土開発(株)，NEXCO グループ，鹿島道路(株) (株)不動テトラ，極東興和(株)，前田道路(株)，(株)ピーエス三菱，昭和コンクリート工業(株) (株)鴻池組，(株)ガイアート，(株)荒谷建設コンサルタント，川田工業(株)，佐藤工業(株) 大成ロテック(株)，常磐工業(株)，(株)ウエスコ，三信建設工業(株)，広島県，中国地方整備局
5. 事業等の内容	建設技術フォーラムの見学と併せて、建設業界の次世代の担い手となり得る近隣学校の学生を招待し、建設関係の団体と交流した。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	建設業界への関心を高め、入職に繋げる。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

「建設技術フォーラム2019 in 広島」を開催しました

企画部
技術管理課

- 開催日：令和元年11月26日（火）～27日（水）
- 開催場所：広島産業会館 東展示館（広島市南区）
- テーマ：安全・安心で豊かな地域づくりを支える建設技術 ～防災・減災対策、老朽化対策の取り組み、ICTを活用した新技術～
 - 基調講演、セミナー発表、技術展示、学生交流広場等を開催しました。
 - 「インフラ長寿化へ向けて、これからを考える」と題した基調講演では、立ち見が出るほど多くの聴講者が訪れ、熱心に耳を傾けていました。
 - 担い手確保の観点から学生交流広場を設け、高校から大学まで305名の学生の参加をいただき、学生たちも真剣に聞き入っていました。
 - 島根・岡山・広島「道の駅」が出展、秋の実り満載の地域の味を多くの方に楽しんで頂きました。
 - 産学官の取り組みに各分野から多くの参加があり、2日間で『延べ来場者 約2,300名』の方々に建設技術をPRしました。

●プログラム

- ◆基調講演：広島大学 名誉教授
（伊万メテカ国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー） 藤井 堅
- ◆技術展示：81ブース（12団体、76社）
- ◆セミナー発表：18課題
- ◆学生交流広場：5学校（広島工業大学、呉工業高等専門学校など）
- ◆道の駅：5駅（本庄、湯の川、鯉が窪、アリスト沼隈、ゆめランド布野）

●オープニングセレモニー



水谷局長の挨拶



テープカット

●基調講演・セミナー発表



基調講演



各団体のセミナー発表

●技術展示



区画割りされたブースでは、パネルや模型、VR体験による技術展示を実施。

●学生交流広場



建設業界の担い手確保を目的とした学生交流広場を開催。各企業や整備局の仕事についての紹介を行うだけでなく、建設業界の魅力を学生たちに十分に伝えることができた。

●道の駅コーナー



島根・岡山・広島「道の駅」から秋の実り満載の名産品を販売。来場者・出展者の休息場所として大いに賑わっていた。

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	中国地方整備局（高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所）
-----------	-----------------------------

事業等の名称	写真集発行 ～建設業者の活躍～ “平成30年7月豪雨からの復旧、更なる安全確保に向けて”
主な対象者	一般
主な取組区分	広報誌、新聞、インターネット
1. 実施時期	令和元年11月18日（土木の日）に発行
2. 実施場所	・高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所、岡山県建設業協会にて配布 ・同事務所、同協会ホームページへ掲載 ・倉敷市真備町の公民館及び分館にて閲覧
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	一般
4. 共催・単独等の開催状況	岡山県建設業協会の協力のもと作成
5. 事業等の内容	甚大な被害を受けた倉敷市真備町において、復旧・復興に尽力したのは「地域の建設業者」とし、普段注目される事のない建設業者にスポットを当て、復旧・復興に尽力している姿を一冊の写真集にまとめ一般に公開。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	・建設業界で働く方々のモチベーション向上、やりがいの創出により、建設業就業者数の維持に繋げる。 ・建設業界への関心を高め、次世代の地域を支える担い手の確保に繋げる。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	・災害以外では継続的に事務所が関与することは難しい。（公平、公正の観点） ・建設業界での取り組みに期待。
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。



お知らせ

記者発表日

令和元年11月14日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ、倉敷記者クラブ、業界紙（山陽建設通信社、建通新聞社、日刊建設新聞社、建設日報、中建日報社）

平成30年7月豪雨からの復旧、更なる安全の確保に向けて

～建設業者の活躍の記録～

平成30年7月豪雨により、倉敷市真備町は甚大な被害を受けましたが、「地域の建設業者」が復旧・復興の縁の下の力持ちとして、被災当初から昼夜を問わず日々奔走し、堤防の復旧は完了したところではあります。

現在も、更なる安全の確保に向けて日々工事を進めています。

注目はされていませんが、地域のために我が身はおいて、持てる力を十二分に発揮し、真備の復旧・復興に尽力している、そんな彼らがここにいます。

こんな頑張っている彼らの活躍の記録を一つの冊子にまとめ、土曜の日である11月18日に発行いたします。

真備の完全復興は、まだまだ道半ばではありますが、彼らの力無くしては為し得ないことであり、彼らのモチベーションをアップしてやりがいを感じてもらい、さらに若者たちへこの魅力を伝えて、次世代の地域を支える担い手確保につなげていきたい。

こんな気持ちで、冊子を当事務所や岡山県建設業協会に置くとともに、真備公民館および各分館で閲覧しています。

なお、当事務所と建設業協会のホームページにも掲載しています。

事務所HP：<http://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda/PDF/katsuyakukiroku.pdf>

協会HP：<http://www.okakenkyo.jp/katsuyakukiroku.pdf>

【問い合わせ先】

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

まさ き とし ひで

副 所 長

正 木 俊 英

代 表 086(697)1020

平成30年7月豪雨からの復旧、 更なる安全の確保に向けて

～建設業者の活躍～



堤防復旧にあたっては
地域の建設業者が活躍しました。

「縁の下の力持ち」という言葉がぴったりな
なかなか注目されることがない
彼らの活躍の記録です。

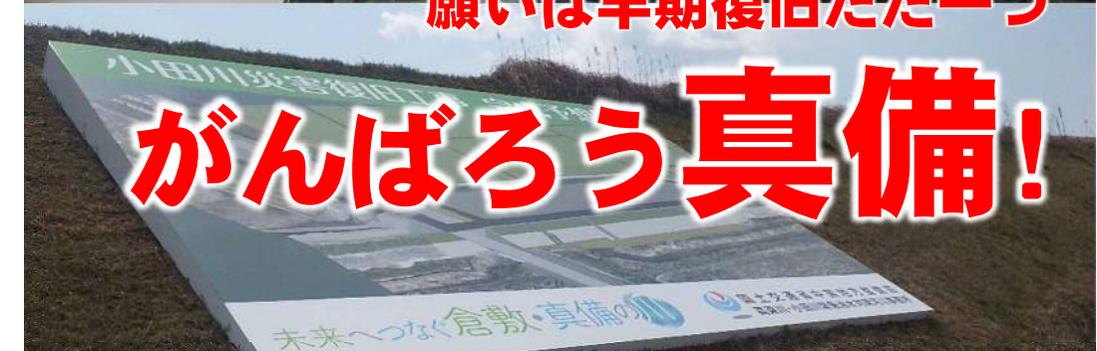


地域を支える力



炊き出し

願いは早期復旧ただ一つ



がんばろう真備!



地域建設業は、災害発生時の応急対策や災害の拡大防止、復旧に貢献しています！

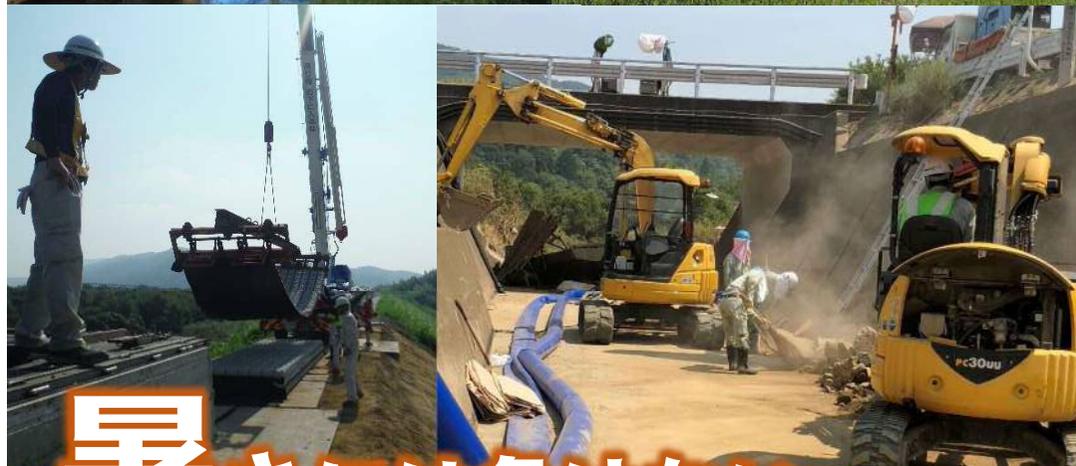
『がんばろう真備!』の合言葉をプリントした安全チョッキ

工事車両にも『がんばろう真備!』

堤防の早期復旧に向けて ~24時間施工~



被災した従業員もいましたが、24時間体制で真備の安全確保のために頑張りました！



暑さには負けない



散水作業

壊れた堤防の復旧工事担当者

箭田地区



(株) ナイカイアーキット 石橋武郎

倉敷市内業者として、出来るだけの事はしたいという気持ちで臨んだ復旧工事でした。工事中は特に2月から5月頃にかけて、今まで経験したことのない程の人員不足、物品不足に直面しましたが、なんとか出水期までに完成出来て安心しております。



(株) カザケン 小野幸長

我が社は真備町の業者ということもあり、西日本豪雨災害により、会社や従業員も被災いたしました。そんな中でも、わが社の理念でもある「すべての人が美味しい飯を食べる」ことが再びできるよう、地域の人々に安心・安全を届けられる第一歩として堤防復旧を完成させたという思いです。今後も復興に尽力したいと思います。

呉妹地区



(株) 大森工務店 藤田哲也 (左)
木下明道 (右)

工事施工方法の検討と、施工が同時進行となり苦労しましたが、好天に恵まれたおかげで予定どおり非出水期の6月14日までに完成することができました。真備町の復興状況を日々見ている、地元企業の我々も真備町復興の力になればと考えています。

(株) 小田組 寺敷道彦 (左)
西山寛人 (右)

『がんばろう！真備』を合言葉に、地域の皆様が安心して生活が送れるよう、一日でも早い復旧を目指して鋭意努力してまいりました。真備地区を含め被災地では復旧工事が急ピッチで進み、必要資機材の調達に大変苦慮しましたが、工事を停滞させることなく予定期日までに無事完成することが出来ました。



それ以外の地区



三宅建設 (株) 谷本恭男

出水期(6月中旬)までに何としても堤体部分を復旧しなければならないというプレッシャーの中、私達自身が今回の災害の被災者でもあり、住民にとっての平穏な生活を取り戻す為に、**【絶対に間に合わせなければならない！】**という強い意志で工事を進めてきました。





本格的な復旧



地域のために

不法投棄ゴミの回収



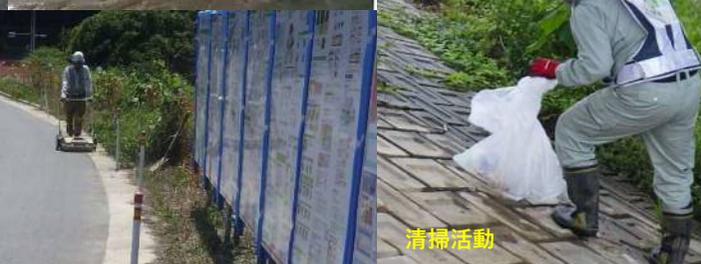
草の撤去 (真備クリーン作戦)



土砂撤去



清掃活動



清掃活動



地域イベントへの参加



感謝状を頂きました!



新たな小田川へ ～小田川付替え工事～



南山を掘削するための
県道下原船穂線の迂回路建設



- (株) 蜂谷工業 三海 惟一郎
- (株) 奥野組 藤野 純
- (株) 藤原組 井山 泰介



濁水処理施設
(工事期間中のみの設置)

橋梁建設

- (株) 蜂谷工業 大西 昭男
- (株) フノウ 山手 良則
- 平松建設(株) 小田 道宏
- 西田鉄工(株) 原口裕史



- (株) 藤原組 大西 孝治
- (株) 荒木組 杉井 良隆

小田川河道掘削



川辺地区護岸工

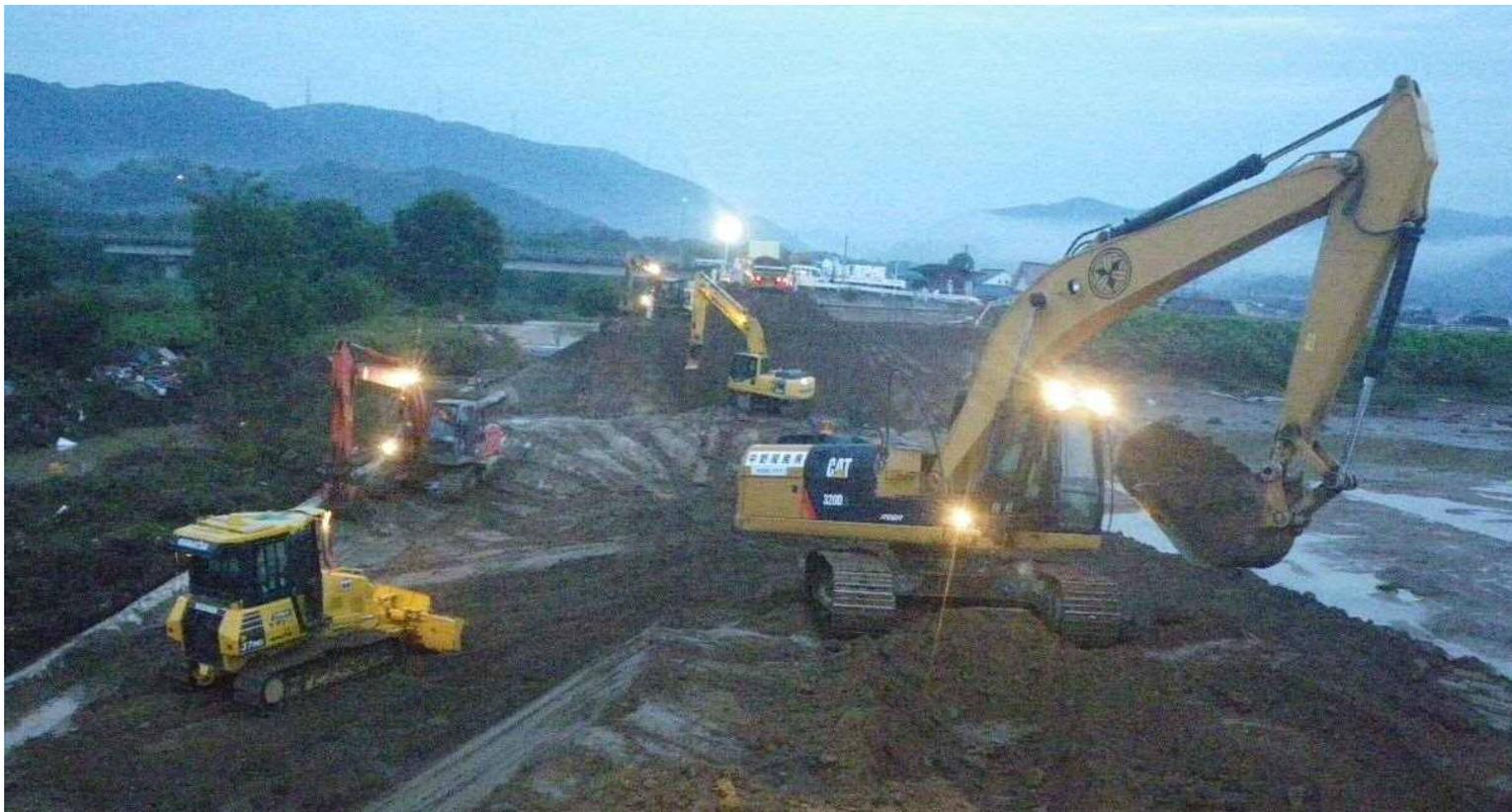
- (株) 三幸工務店 岡田 佳久
- (株) 吉田組 弓岡 尚生
- (株) カザケン 赤澤 一徳

更なる安全へ向けて ～河道掘削・堤防強化～



服部地区堤防拡幅

- (株) 三幸工務店 横山 文俊

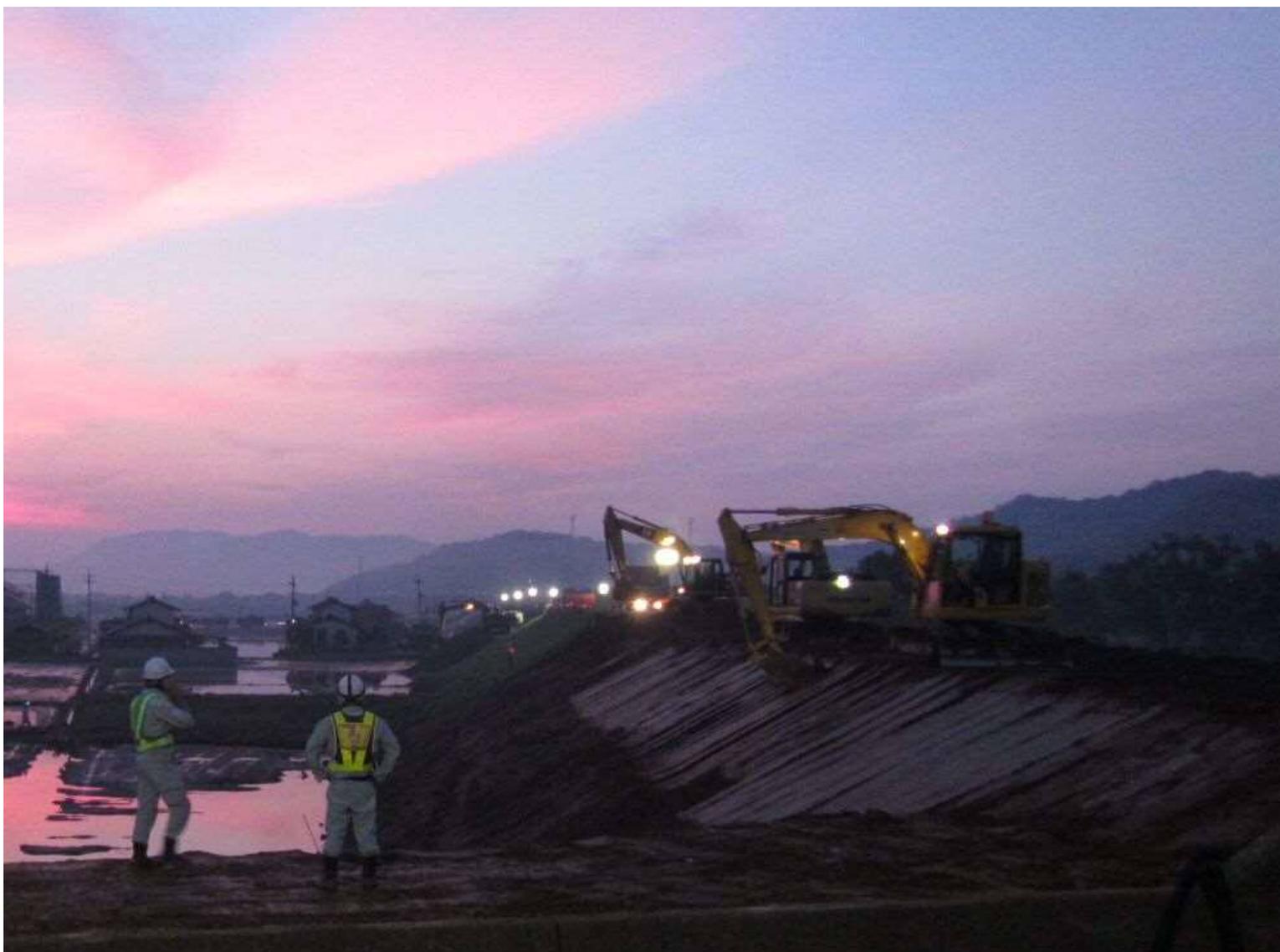


平成30年7月豪雨からの復旧、更なる安全確保に向けて ～建設業者の活躍～

作成日：2019年11月18日

作成者：国土交通省 中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

協力：岡山県建設業協会



(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	中国地方整備局（高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所）
-----------	-----------------------------

事業等の名称	建設業のイメージ向上のためのInstagram (小田川関係工事の写真を掲載するため公式アカウントを開設)
主な対象者	一般
主な取組区分	広報誌、新聞、インターネット
1. 実施時期	令和元年12月11日に開設
2. 実施場所	Instagram ・アカウントID @takaoda2019 ・アカウント名 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	一般
4. 共催・単独等の開催状況	単独
5. 事業等の内容	建設業のイメージ向上のため、若者に利用者が多いInstagramに着目して公式アカウントを開設。工事のひとときわ良く見える写真、いわゆる映える写真を日々掲載。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	・建設業界への関心の向上 ・建設業のイメージアップ これにより、建設業界への入職へ繋げる。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	裾野を広げるためにも、建設業界自らの実施に期待。
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。



お知らせ

記者発表日

令和元年12月11日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ、倉敷記者クラブ、業界紙（山陽建設通信社、建通新聞社、日刊建設新聞社、建設日報、中建日報社）

建設業のイメージ向上のため工事写真をInstagramに掲載。
～Instagramはじめました。～

建設業のイメージ向上のため、魅力ある工事写真を広く一般に公開できるInstagram公式アカウントを開設いたしましたのでお知らせします。

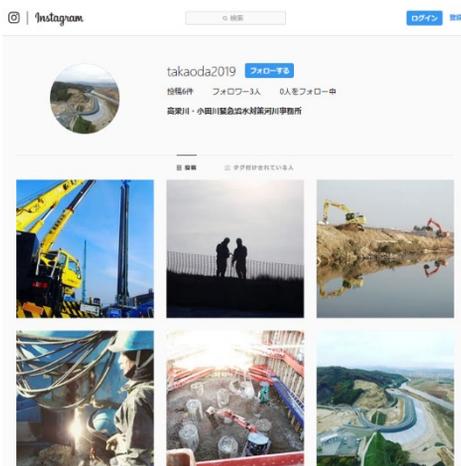
工事写真は小田川合流点付替え、小田川の河道掘削・堤防強化等の工事を中心に掲載します。

(1) アカウントID @takaoda2019

(2) アカウント名 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

Instagramトップページ イメージ

QRコードからもアクセスができます。



【問い合わせ先】

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

副所長 正木 俊英

まさ き とし ひで

代表 086(697)1020